

## 指定管理者からの令和3年度事業報告概要

施設名	岡山県生涯学習センター				
<b>【指定管理者の概要】</b>					
名称	CRISコンソーシアム	代表者	代表者 牧野 康平		
所在地	岡山県岡山市北区津島東一丁目4番1号				
<b>【指定管理の概要】</b>					
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	報告期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの施設等の維持管理に関すること。</li> <li>・センターの施設等の利用の許可に関すること。</li> <li>・人と未来の科学館サイピアの運営に関すること。</li> </ul>				
<b>【管理体制の状況】</b>					
統括責任者 (非常駐1名)	全体管理責任者 (常駐1名)	サイピア管理運営 責任者 (非常駐1名)	科学実験担当(非常駐2名うち兼任1名) 企画・広報担当(常駐3名うち兼任3名) 総務・経理担当(常駐1名うち兼任1名) プラネリウム担当(常駐4名うち兼任3名)		
		生涯学習センター 現場管理責任者 (非常駐1名)	貸出・受付・警備 (常駐2名、非常駐4名うち兼任1名)		
		<一部委託> 保守点検業務、清掃			
<b>【利用等の許可の状況】</b> <span style="float: right;">(単位：件、人)</span>					
		施設等の利用 (件)	投影の観覧 (人)		合計 (件、人)
許可 件数	3年度	2,299	25,559		27,858
	2年度	2,488	18,655		21,143
	増減	△189	6,904		6,715
<b>【維持管理の業務の実施の状況】</b>					
項目	内 容				
施設等の維持管理業務	・受付業務 ・維持管理業務 ・保守点検業務 ・清掃業務 ・警備業務				
施設等利用許可業務 (4月～3月)	・施設等の利用 (2,299件) [主な内訳] ミーティング室6室1,042件、大研修室204件等 ・投影の観覧 (25,559人)				
自主企画事業	サイエンスショー、科学フェスティバル等 6,623人				
<b>【利用料金の収入及び減免の状況等】</b> <span style="float: right;">(単位：円、件)</span>					
	施設等利用料	投影の観覧料		合 計	
収入額	5,537,770	4,511,650		10,049,420	
利用件数	2,299	25,559		27,858	
減免額	3,216,120	2,065,760		5,281,880	
減免理由	県が主催・共催した事業、学校教育活動等				

# 指定管理者からの令和3年度事業報告概要

## 【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		3年度	対前年度増減額	2年度	備考
<b>収入額 A</b>		86,154,267	2,490,694	83,663,573	3年度収入額 その他の主なもの 岡山県大規模集客 施設協力金 2,610,000円 雇用調整助成金 2,281,079円
内 訳	指定管理料	67,750,000	△1,623,723	69,373,723	
	利用料金収入	10,049,420	440,880	9,608,540	
	事業収入	3,463,768	764,011	2,699,757	
	その他	4,891,079	2,909,526	1,981,553	
<b>支出額 B</b>		82,325,955	△5,295,080	87,621,035	主な増減内容等 (収入) コロナ補正予算の減 △1,464,000円 岡山県大規模集客施設 協力金の増 2,610,000円 (支出) 職員の退職等に伴う人 件費の減 △2,264,620円 消耗品費の減 △1,106,991円
内 訳	人件費	35,306,377	△2,419,374	37,725,751	
	管理運営費	41,241,426	△2,102,747	43,344,173	
	事業費	5,778,152	△772,959	6,551,111	
	その他	0	0	0	
<b>収支額 A-B</b>		3,828,312	7,785,774	△3,957,462	
県への納入金		-	-	-	
<b>実質的な県負担額</b>		67,750,000	△1,623,723	69,373,723	

## 【特記事項 (管理運営業務の実施状況の点検結果)】

点検項目		区分	特記事項 (評価すべき点・改善すべき点)
管理 運営 状況	①適切な施設 管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守 状況	B	関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	危機管理マニュアルに基づき、安全性を確保した管理が履行されていた。
	④財産の適切な 管理	B	施設・設備の破損・紛失はなく、保守管理等が適切に履行されていた。 また、プラネタリウムの定期的な点検を行うとともに、緊急時の対応に 設置会社と連携を密にしている。
導入 効果	①利用状況	C	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設貸出及び施設利用者 数は大幅に減少した昨年度並みにとどまった。 【利用者数】 センターR3:38,156人←R2:43,674人←R元:66,097人 サイピア R3:71,590人←R2:62,834人←R元:94,054人
	②収支状況	B	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用料金収入等は大幅に 減少した昨年度並みにとどまったが、助成金等の活用や事業費の削減に より、収支の改善に努めた。
	③サービス向上	B	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、自主企画事業や利用者ア ンケートを実施し、サービス向上に努めた。
<b>管理運営業務全般</b>		B	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた収入状況の中で、協定書、事 業計画書に基づき、適切な管理業務がなされ、サービス向上の取組も実施され ていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。

D：予定していた業務水準を下回った。